



南舞岡小だより

学校教育目標「学ぼう つながろう 切り拓こう」

学校所在地 〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡4-15-1 (TEL823-4120,4130)

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamimaioka/>



思いやる気持ち

副校長 佐藤 朋実

11月が目前に迫り、「晩秋」という言葉がぴったりの気候となりました。学校でもサクラなどさまざまな落ち葉が毎日積もり、季節の移り変わりを感じます。

蒸し暑い夏のあと比較的過ごしやすい日々が続くせいか、「秋」の前にいろいろな言葉が付けられ、それぞれに適した季節と言われます。

「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」「行楽の秋」「食欲の秋」「実りの秋」・・・

皆様はどの「秋」を思い浮かべられるでしょうか。ちなみに私は、たわわに実った稲穂など「実りの秋」のイメージが一番強く感じます。コロナ禍の影響で遠ざかっていた「秋」もありますが、今年は少しずつ戻ってきているように思います。

さて、南舞岡小では「行事の秋」真っ只中と言ってもよいかもしれません。昨年度は実施できなかった宿泊行事が次々に行われています。9月末には個別支援学級が野島に戸塚区合同宿泊学習に出かけました。10月に入り、6年生の日光修学旅行、4年生の上郷宿泊体験学習と実施することができました。現時点での各施設等のガイドラインを参照するなど、制約や配慮事項もありましたが、できる限り充実した活動を考え、それぞれに事前の学習を行って当日を迎えました。

子どもたちは出発式で「皆さんは校外では南舞岡小学校の『顔』です」と送り出されました。そして到着式では、宿泊施設の職員の方や見学地で出会った方々から、マナーの良さやルールを守って行動する様子をほめられたという嬉しい報告がありました。子どもたちの頑張りや意識のもち方に感心するとともに、ふだんから支えてくださっているご家庭にも感謝したいと思います。

私は4年生の上郷宿泊体験学習に同行したのですが、子どもたちが食事や集会、入浴などの時間に間に合うように声を掛け合っていたり、協力してシーツを畳んだり部屋を片付けたりする様子を目にすることができました。宿泊した「上郷森の家」の方からは、ルールを守って過ごしたことが食堂や客室の担当者という子どもたちとは直接関わることはない人たちの役にも立っていたと感謝の言葉をいただき、ルールを守ることは人を思いやることにつながっている、ルールはそういうためにもあることを覚えておいてほしいというお話を聞きました。そばで聞いていて、子どもたちにとって「思いやる」「思いやり」の意味が広がったのではないかと思います。

学校行事にはいろいろなねらいがありますが、体験的な活動やいろいろな方々との関わりを通して、見方・考え方を広げたり、協力してよりよい学校生活を送ろうとする態度を高めたりすることにつながる経験を重ねることができました。11月にも5年生の宿泊体験学習や全校遠足が予定されており、また行事とは少し違いますが、12月のふれあい文化祭に向けた取組が始まっています。いろいろな人との関わりの中で取り組む活動を通して、学びを広げ、深めていってほしいです。